

令和元年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	若者の就労支援事業実施のための施設の改修工事・増設工事
事業主体 (連絡先)	特定非営利活動法人ジョイフル 0263-51-9088
事業区分	6 産業振興、雇用拡大に関する事業 3 教育、文化の振興に関する事業
事業タイプ	ソフト・ハード
総事業費	3,658,531円 (うち支援金: 2,756,000円)

事業内容

福祉サービス等が利用できないニートや引きこもり等の若年者に対する就労支援事業実施のための施設の改修と、施設の増設のための工事を行いました。

- 1.施設内の空調工事 (相談室・応接室・講習室)
- 2.コンテナハウスの設置
施設自体への増設が出来ないため、駐車場にコンテナハウスを設置し、相談や個別支援、作業や活動を行う場として活用



【設置したコンテナハウス】

【目標・ねらい】

- ①施設内空間 (空調) の充実
- ②増設による活動の強化・充実

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- 1.地元の人達からの注目
コンテナハウスが目立つため、設置時から地域の方から声をかけられたり、活動への共感をいただくことが出来、ごみ拾い活動もしやすくなっています。
- 2.空調工事前に比べ、施設内の稼働率や活動率が向上した。
- 3.人目の少ない環境で作業することが出来るため、利用率が増加した

※自己評価 【A】

【理由】

近所から声をかけていただいた事は予想していない事だった。稼働制限していた時間帯も利用が出来るようになり、予想よりも稼働率が向上した

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

- 1.地域からの暖かい見守りの中で活動をしていき、エコウォークに参加する等積極的に地域と関わる機会を増やしていきたい。
- 2.今後、利用者の増加が見込まれるためコンテナを十分に活用していきたい。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある